



神奈川県立鶴見支援学校
地域連携グループ・進路チーム NO. 3
令和5年9月25日発行

猛烈に暑かった夏が徐々に懐かしく感じる気候になってきました。夏の疲れはとれた頃でしょうか。過ごしやすい秋の季節を満喫したいですね。さて、今回の進路だよりは、3年ぶりに行われた「卒業生の集い」や「事業所や企業の夏の見学会」の様子等を紹介します。

卒業生の集い

7月17日(月)に「卒業生の集い」が鶴見支援学校で行われました。新型コロナウイルスの影響もあり、3年ぶりの開催となりましたが、多くの卒業生、保護者、関係する職員の方々にご参加頂くことができました。自己紹介や近況報告などを行い、久しぶりに会うことができた友達や職員とお話をすることができ、楽しい時間を過ごすことができました！



生徒・保護者向け 企業見学会

夏季休業期間を利用して、高等部の生徒・保護者対象に、企業の見学会を開催しています。今年度は、特例子会社4社に協力をいただき、見学会を実施しました。生徒・保護者に企業の取り組みや仕事の様子を知ってもらうことや進路選択の幅を広げてもらうことを目的としています。今年度の4社は、軽作業・事務サポート（健診着の準備、更衣室の清掃、給茶機の清掃、オフィス文房具の補充など）、軽作業・製菓（化粧品サンプルの結束・梱包、健康食品の梱包、クッキー作りなど）、オフィス事務サポート（書類のPDF化、会議室整備、PC入力、社員の福利厚生に関わる業務など）、清掃・事務サポート（屋外清掃、食堂清掃、伝票入力、アノテーション、シュレッダー、函面折りなど）が主な業務内容でした。それぞれ会社の概要の説明の後、仕事の現場を見学しました。スタッフが説明をしてくれたり鶴見支援の先輩が働いていたりする職場もあり、その働きぶりに生徒も保護者も感心しきりでした。生徒たちは「オフィスがきれいだった」「あの仕事できそう」「難しそうだった」など友だちや保護者と感想を話していました。どの企業も「働く意欲」や「報告・連絡・相談」、「生活リズム」「体力」の大切さやスタッフが長くやりがいをもって働き続けられるような仕組みについてお話くださいました。また、会社もスタッフも時代や環境に合わせて変化していく対応力・適応力が今後大切になってくるというお話が印象的でした。

能力開発センター・キャンパス秦野 見学会

能力開発センターは、事務補助やサービス業等に関わる専門技術の向上と社会人としての必要なスキルを身に付け、就労することを目指しています。また、キャンパス秦野は、能力開発センターと連携して就労してから必要となる、生活や対人関係などのスキルを、寮生活を通して身に付けることを目指しています。

高2対象の見学会では、それぞれの施設概要の説明をしていただき、実際に訓練を行っている様子や施設内の見学をしました。販売会に向けて制作している木工製品や掲示用のポスターを見て、生徒たちは「やってみたい」等と話していました。



職業相談会



8月2日（水）にハローワーク川崎において高等部3年生対象の職業相談会が開催されました。今年度は、本校・分教室合わせて17組の生徒・保護者が参加しました。

（在学中・卒業後に関わらず、就職するためにはハローワークに登録する必要があります。また将来の仕事探しや仕事で困った時に相談する場所として活用できるように、職業相談会を開催しています。）

はじめに、ハローワーク川崎の職員による「社会人になる準備」というテーマの講義を受けました。社会人として大切な「時間を守る」「あいさつや返事をする」「身だしなみを整える」「きちんとした言葉遣い」「生活リズムを整える」についてお話いただきました。また、「失敗を正直に認める勇氣」「報告し、素直に謝罪をする」ことが、長く働くために必要であることも教えていただきました。講義のあとは、一人ひとり相談窓口で求人登録をしたり、求人票検索機を使用して自分の興味のある求人票を検索し、プリントアウトしたりしました。自分が実習した職種や希望の給料額を入力して検索していました。

今回お話しいただいた「社会人として大切なこと」を意識して、日常生活や後期実習に取り組み、卒業後に向けて準備して行ってほしいと思います。

教員向け 事業所 企業見学

- ★企業努力は本当に大変だと思われる。本事業所はしっかりと原点に立ち返り、ポイントを絞った実のある支援が行われていると感じられた。（**就労移行支援事業所 ピースⅡ新横浜**）
 - ★それぞれの場所（自分のスペース）で落ち着いて過ごしていたことが、子供たちの進路の見通しが見えたとような感覚になりとても良かった。（**B型、生活介護事業所 かれん**）
 - ★小中学部の時にどのようなことを身に付けたら良いのか知ることができて良かった。久しぶりの訪問でしたが、変わらぬフロンティア魂を感じることができ、時代と共に進化していく姿を見せていただいた。（**特例子会社 富士電機フロンティア**）
 - ★卒業生が話してくれる機会があり、卒業後のビジョンがとてもクリアに見えた。企業が定着への取り組みを丁寧に行っていてとても安心した。（**特例子会社 JERA ミライフル**）
 - ★一人ひとりの作業台や作業スペースが設けられており、仕事や日常的な活動に向きやすい環境設定がされていると感じた。（**B型・生活介護事業所 白楊園**）
 - ★掲示物に工夫がされており、自分の仕事を把握しやすいこと、フィードバックを丁寧にやっており、社員のモチベーションが保ちやすい環境だと感じた。（**特例子会社 NRI みらい株式会社**）
- など様々な感想がありました。卒業後のイメージを感じとる貴重な機会になりました。



アフターフォロー

支援学校卒業後3年間を定着支援期間として、アフターフォローを実施しています。主に夏季休業期間中に、進路担当や在学中の担任が職場や事業所に伺ったり、電話で様子を確認したりしています。

福祉事業所では、ご本人の活動の様子を見学したり、指導員さんから日頃の様子を共有していただいたりすることが多いです。今年度もそれぞれの進路先で「変わらず仕事に集中していますよ。」「卒業時より集中する時間が伸びました。」「他の利用者さんと仲良く休憩時間過ごせています。」など嬉しい言葉をいただきました。また、卒業生の皆さんの立派に受け答えができるようになった姿や変わらない笑顔を見ることができました。

企業では、課題点（実習で見られなかったこと、例えば自己判断が多い、報連相をしないなどが多いです）を共有したり、企業が本人に伝えたい情報を代わりに聞いたりしました。必要に応じて、追加の面談を設定したり、他の支援機関につないだりして、長く働けるようにサポートしています。